

先端教育人材育成推進機構を核として、
教育者養成の在り方を持続的に探究する大学へ

教員養成フラッグシップ大学 ヒアリング審査
令和4年1月18日（火）

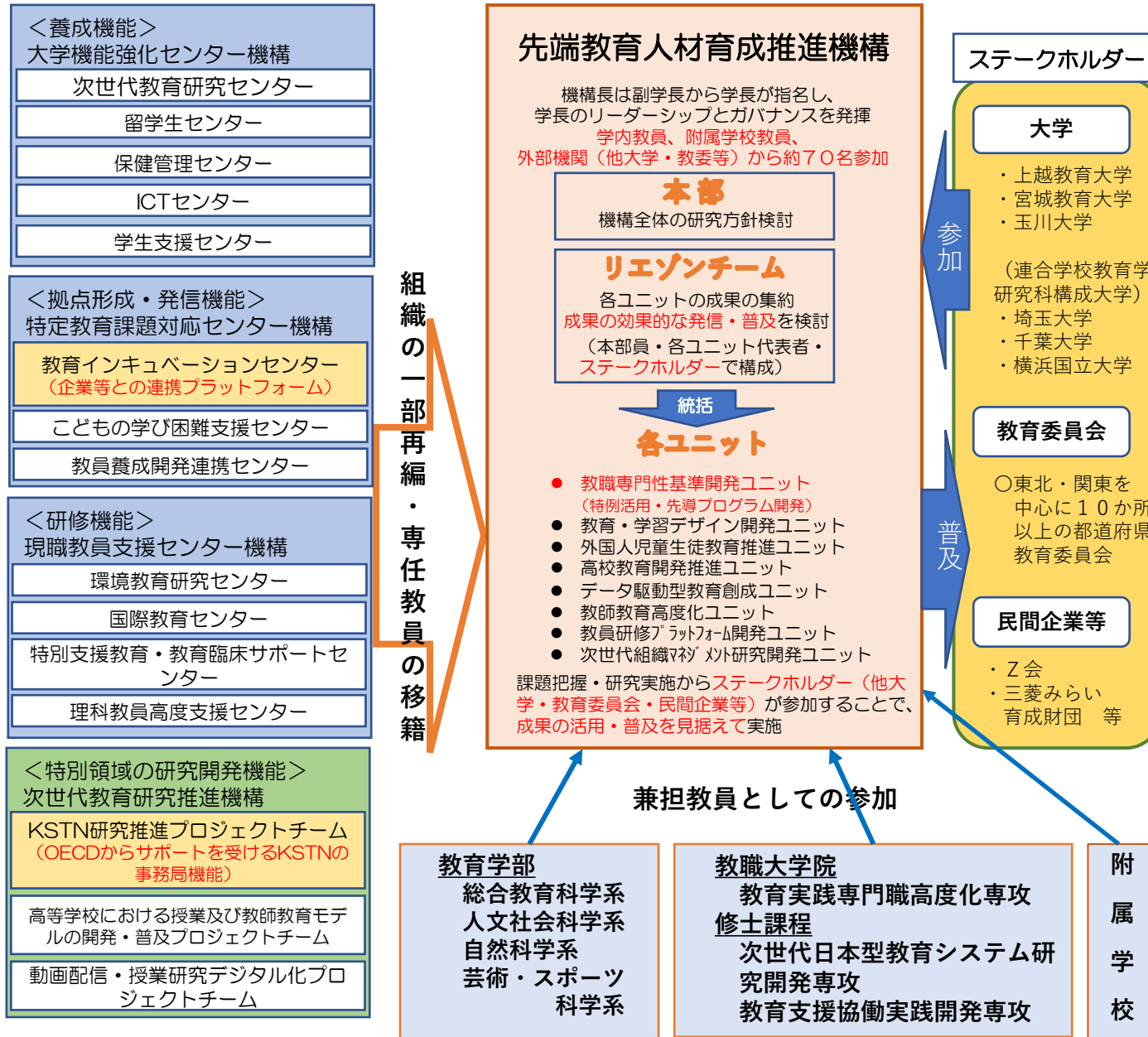
【東京学芸大学】



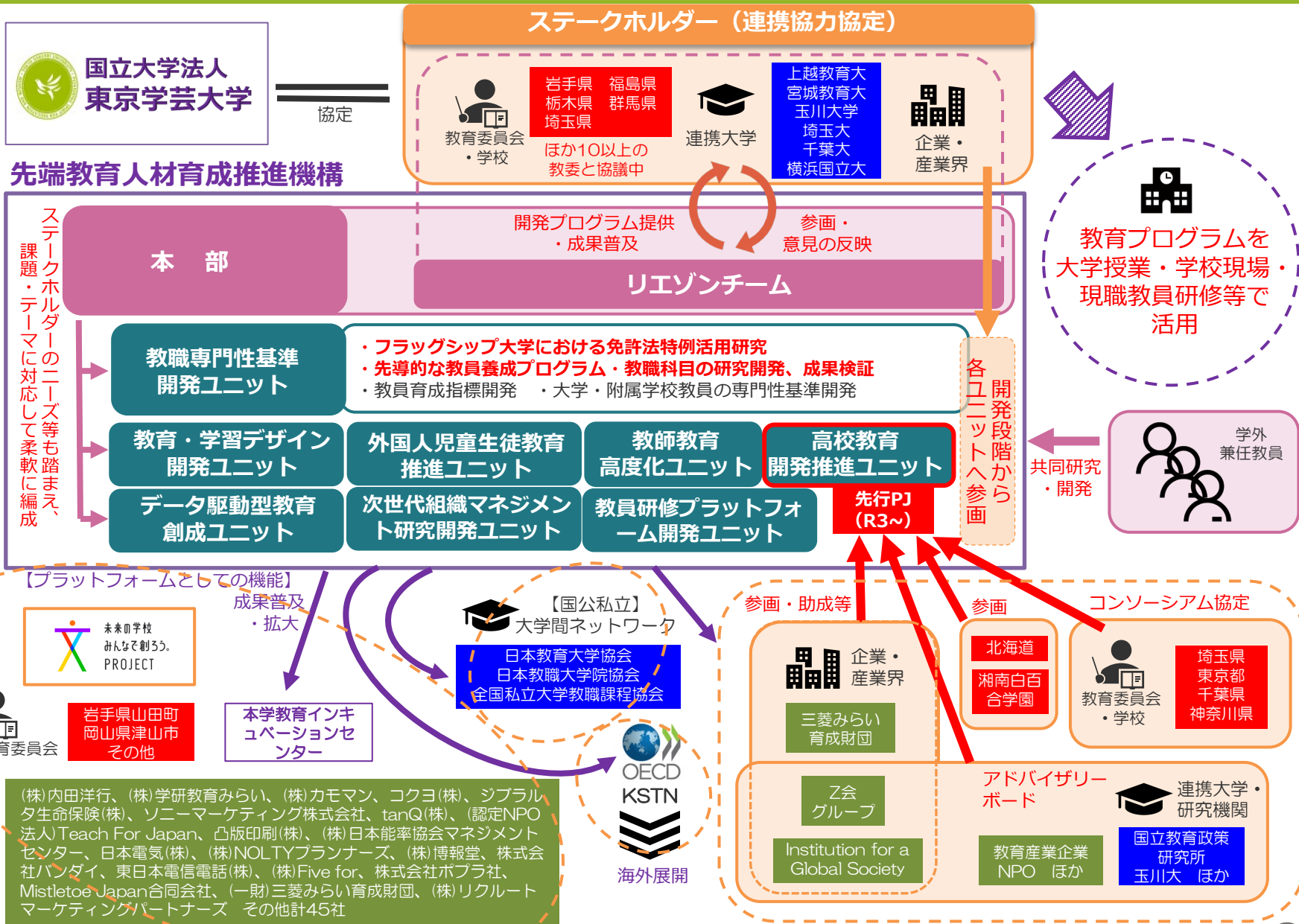
国立大学法人

東京学芸大学

先端教育人材育成推進機構の設置イメージ

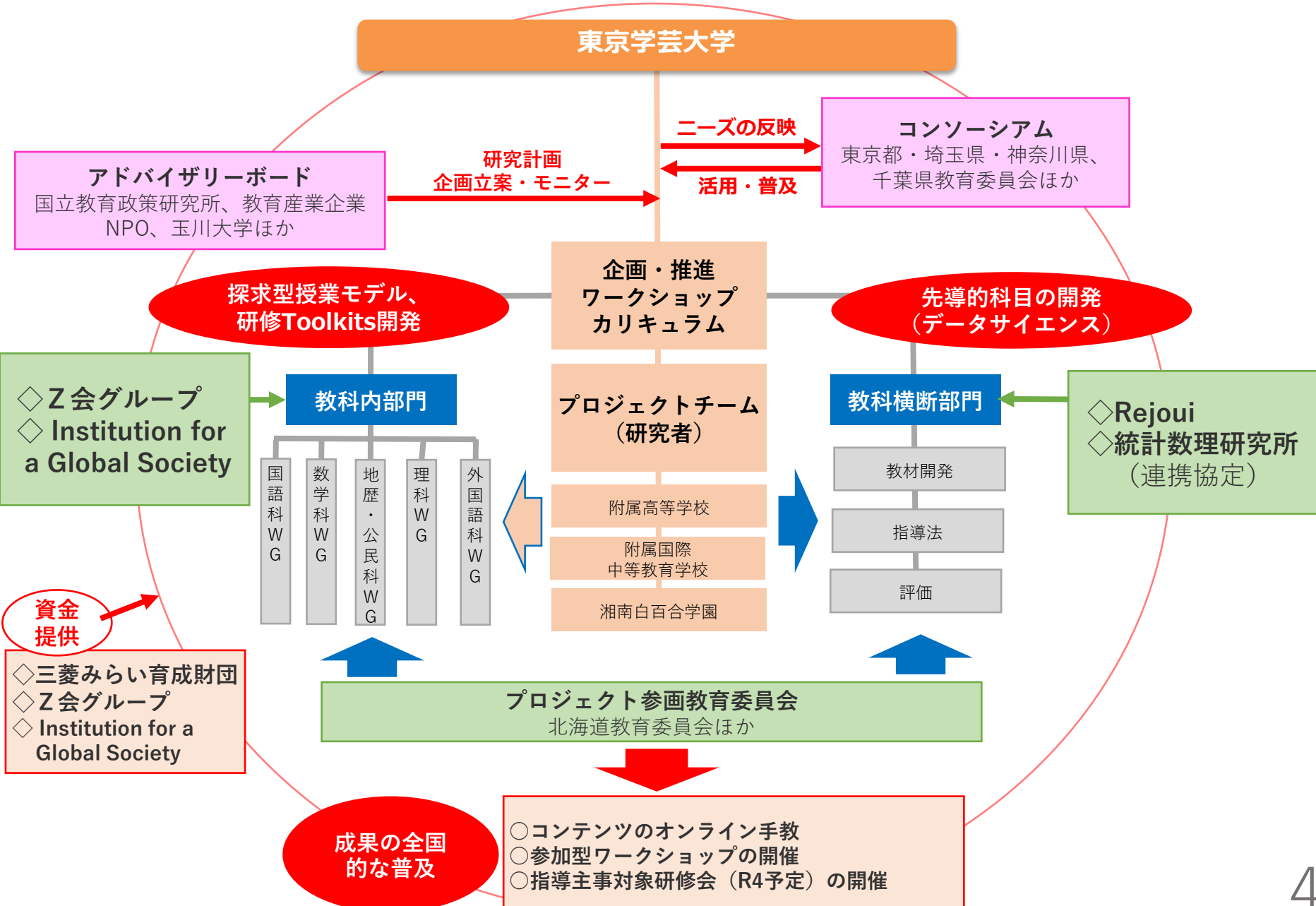


連携先との協力関係・成果展開イメージ



【先行事例】高校探究プロジェクト

(高等学校における授業及び教師教育モデルの開発・普及プロジェクト)



フラッグシップ大学で目指すテーマ、人材像、伸ばす資質・能力

テーマ：子供と教師が共に新たな社会を創造していく学校教育の実現

フラッグシップ大学で
目指す人材像

フラッグシップ大学で伸ばす
資質・能力

※丸数字は「教員養成フラッグシップ大学
公募要領」の重点課題ナンバー

変化が激しく予測困難
な時代へ対応できる力
と新たな価値を創造す
ることができる力を子
供に育成することがで
きる教師

対
子
供

- 「探究力、創造力、他者・社会
と協働できる力」を育成する力
- 1) 教科横断学習（STEAM含む）実践力⑤③
- 2) アクティブラーニング実践力①③
- 3) 子供が置かれている多様な環境
への対応力⑥

学校や社会をより良く
変革することに自律
的・主体的に取り組む
ことができる力を有す
る教師

教
師
自
身

- 4) 学び続けるために、
自己をマネジメントする力②
- 5) 学校教育のより良い変革
に資する基盤となる探究力、創造力②⑤
- 6) 学校内での協働・社会との協働を
マネジメントする力④

フラッグシップ大学で伸ばす資質・能力を育成する授業科目（特例科目）

○「探究力、創造力、他者・社会と協働できる力」を育成する力

→1) 教科横断学習（STEAM含む）実践力

→2) アクティブラーニング実践力

（育成する授業科目）

（授業内容）

1) 「**社会に開かれた探究と創造の学びのデザイン**」1単位

（学部3年生対象）

教科等横断的な学習、STEAM教育など、各教科・領域の枠組みや知識を総合的に働かせて、問いを立て、探究していくプロセスを通じて育成

2) 「**学びを支えるファシリテーションの技法**」1単位

（学部3年生対象）

ファシリテーションの技法や学習するチームづくりの手法の習得を通じて育成

○3) 子供が置かれている多様な環境への対応力

○6) 学校内での協働・社会との協働をマネジメントする力

（育成する授業科目）

（授業内容）

3) 及び6)

「**チーム学校と多職種協働**」

1単位

（学部3年生対象）

多様な専門職集団の中での教師の専門性や、学校外の支援との連携を効果的に行うための教師の役割、マネジメント力、情報共有ツール等に関する実践的な知識や技能を学ぶ

○4) 学び続けるために、自己をマネジメントする力

（育成する授業科目）

（授業内容）

4) 「**教師のレジリエンスと自己管理能力の育成**」1単位

（学部3年生対象）

レジリエンスの基本的な考え方とともに、自尊感情、感情のコントロール、ソーシャルスキル、ストレス耐性、ソーシャルサポートなど、関連要因について知識を得て、各々を高める方法についてグループワークを行い技術を習得

○5) 学校教育のより良い変革に資する基盤となる探究力、創造力

（育成する授業科目）

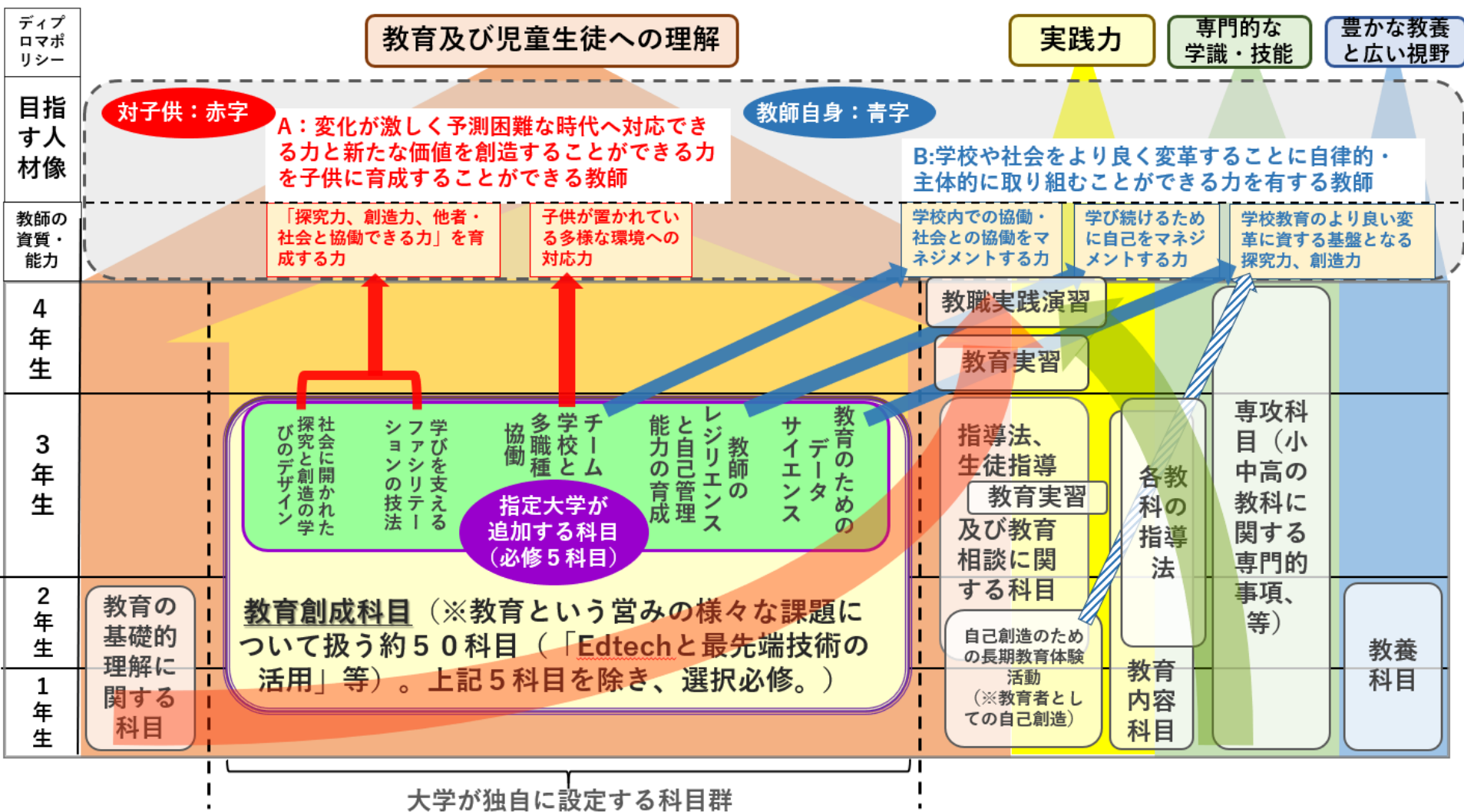
（授業内容）

5) 「**教育のためのデータサイエンス**」1単位

（学部2年生対象）

データサイエンスを構成する基礎的な内容を学ぶとともに、教育のフィールドにおける具体的な課題の解決を通じて育成

学校教育教員養成課程カリキュラムイメージ（令和5年度～）



「教育創成科目」の全体像

フラッグシップ大学で目指す人材像	変化が激しく予測困難な時代へ対応できる力と 新たな価値を創造できる力を 子供に育成することができる教師		学校や社会をより良く変革することに自律的・主体的に 取り組むことができる力を有する教師			
フラッグシップ大学で伸ばす資質・能力	「探究力、創造力、他者・社会と協働できる力」を育成する力	子供が置かれている多様な環境への対応力	学び続けるために自己をマネジメントする力	学校教育のより良い変革に資する基盤となる探究力、創造力	学校内での協働・社会との連携をマネジメントする力	
必修	★社会に開かれた探究と創造の学びのデザイン	★チーム学校と多職種協働（貧困や虐待など、子供の現状）	★教師のレジリエンスと自己管理能力の育成	★教育のためのデータサイエンス	★チーム学校と多職種間協働（連携のための効果的なマネジメント）	
	★学びを支えるファシリテーションの技法					
選択必修	I群	●学校教育におけるSDGs ・エコスクール論 ・小学校におけるプログラミング教育 ・環境と教育実践 ・教育評価の理論と実践 ・遊びと発達 ・地域の環境観測とその実践 ・子どもの遊びと生活 ・学校図書館で深める主体的な学びのデザイン ・日本の教科教育と授業研究	●いじめ・不登校と変化する社会 ・インクルーシブ教育とユニバーサルデザイン ・外国人児童生徒への日本語教育 ・特別ニーズと教育 ・不平等と学校教育 ・現代の学校と外国人児童・生徒	●未来の学校をみんなで創る ・教室集団の人間関係 ・現代学校論 ・学校経営のための教育経営 ・教育政策 ・教師の省察の実践のための教育思想 ・日本の教育（A）、（B）	●教育の情報化基礎 ・教育ビッグデータとデータ分析	●学校保健・衛生管理とマネジメントサイクル ・教職基礎としての子供の安全 ・学校教育と地域連携
	II群	●国際バカロレア教育と探究学習の視点 ・自然体験学習論	●こどもの学び困難と教育支援 ・国際理解教育論 ・子ども社会学 ・文化間移動と子どもの学び ・異国に育つ子どもたちの教育	●教育・教育支援者のメンタルケアの基礎理論 ・教育から見る日本の社会と歴史	●Edtechと最先端技術の活用 ・教師・教育支援者のための紙面・映像編集 ・教師・教育支援者のための情報セキュリティ ・外国の教育（A） ・外国の教育（B） ・教育開発と教育協力 ・世界の教育多様性	●学校教育とスクールソーシャルワーク ・現代の教育課題と文化遺産 ・教育支援とカウンセリング ・地域スポーツと部活動 ・学社連携と児童・生徒

実践に繋げる科目

★授業観察演習

自ら履修計画をデザインし、目標とする資質能力を身に付けるプロセスを重視。

★（赤字）：学校教育教員養成課程 必修科目

●（橙字）：I群・II群（選択必修科目）のうち、中核的な現代的・先導的科目

《履修方法》学校教育教員養成課程：修得単位11単位 ※内訳【6単位(必修)+5単位(I群から3単位、II群から2単位)】

教育支援課程：修得単位7単位 ※内訳【1単位(「教育のためのデータサイエンス」必修)+6単位(I群、II群から3単位ずつ)】

※「自由選択科目」(学校教育教員養成課程・最大9単位、教育支援課程・19単位)の中でも、一定単位数履修することが想定される。

カリキュラム構造図（令和5年度～）

科目区分		学校教育教員養成課程						教育支援課程			
		初等教育専攻 (現代教育実践)	初等教育専攻 (教科)	初等教育専攻 (幼児)	中等教育専攻	養護教育専攻	特別支援教育専攻	教育支援専攻			
豊かな教養と広い視野	教養科目	22						教養科目 計	22		
教育及び児童生徒への理解	教育創成科目	必修科目	社会に開かれた探究と創造の学びのデザイン			1			必修科目（教育のためのデータサイエンス）	1	
			学びを支えるファシリテーションの技法			1					
			チーム学校と多職種協働			1					
			教師のレジリエンスと自己管理能力の育成			1					
			教育のためのデータサイエンス			1					
			授業観察演習			1					
	選択必修科目	Ⅰ群（学校教育にフォーカスしたもの）			3			Ⅰ群（学校教育にフォーカスしたもの）	3		
		Ⅱ群（学校外での様々な教育課題に関するもの）			2			Ⅱ群（学校外での様々な教育課題に関するもの）	3		
計		11						教育創成科目 計	7		
実践力	教育基礎科目	教育の基礎的理解に関する科目						12			
		道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		10	6	10					
		教育実践に関する科目						7	11		
		計		29	25	29	33				
専門的な学識・技能	専攻科目	小学校の教科に関する専門的事項（SP）〔幼児教育は領域に関する専門的事項〕		5	18	8~12		5	課程共通科目	6	
		教科の指導法〔幼児教育は保育内容の指導法〕		20				20	必修科目（S）（入門セミナーを含む） 自コース開設選択科目（SA）	62	
		教育内容科目（専攻SE）						4	2	他コース開設選択科目（SB）	
		必修科目（S 入門セミナーを含む）		6	10~14	14	30				
		自専攻開設選択科目（SA、コース必修を含む〔A類非教科〕）		16	8~12	22	42~46	48	8	課程共通選択科目（SC）	4
		他専攻開設選択科目（SB）									
		卒業研究						4		卒業研究	4
計		55	55	62	58~66	56	69	専攻科目 計	76		
自由選択		9	9	6	8~0	8	1	自由選択	19		
総計		126	126	126	128	126	136	合計	124		

学校教育教員養成課程においては、先導的授業科目の研究開発成果を、教職課程コアカリキュラムやカリキュラムオーバーロード等にも配慮して活用



フラッグシップ大学 工程表

①全学的な教育研究体制整備

事業内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
学部組織再編・カリキュラム改訂	設置及び課程認定手続き		新組織・カリキュラム開始			新カリキュラム完成年度
フラッグシップ大学事業を推進する学内センターの再編	センター再編検討	先端教育人材育成機構設置（センター統合・専任教員移籍）	さらなるセンター再編検討・実施（機動的に、教職員が協働できる研究体制の整備）			

②先導的・革新的な教員養成プログラム・教職科目の研究・開発及び成果の展開

事業内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
フラッグシップ大学で伸ばす資質・能力を育成する授業科目の開発・実施及び成果の展開	<p>先導的な教職科目開発</p> <p>「Edtechと最先端技術の活用」</p> <p>「チーム学校と多職種協働」</p>	<p>特例を活用した授業の研究開発（先端教育人材育成推進機構教職専門性基準開発ユニットを中心に各ユニットと連携し実施）</p>	<p>授業開発とともに、可能なものは試行的に実施（教職大学院で実施、学部令和3・4年度入学生へ自由選択科目として実施）</p>	<p>初等教育専攻で、特例を活用した授業実施（学部2年生対象） 「教育のためのデータサイエンス」</p>	<p>初等教育専攻で、特例を活用した授業実施（学部3年生対象） 「社会に開かれた探究と創造の学びのデザイン」 「学びを支えるファシリテーションの技法」 「チーム学校と多職種協働」 「教師のレジリエンスと自己管理能力の育成」</p>	<p>令和7年度からの特例活用を目指す</p> <p>成果を基にさらなる研究へ</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園・中学校・高校・特別支援学校免許での特例活用研究 さらなる先導的・革新的科目の開発 	<ul style="list-style-type: none"> 連携大学での教材活用、連携大学・教育委員会等による授業観察 履修学生へのアンケートを含む、教学IRによる分析 教員向け研修教材等のコンテンツ発信のためのプラットフォーム開発 先端教育人材育成推進機構で成果検証 	<ul style="list-style-type: none"> 教職課程制度の改善への提言 他大学での授業実施 教育委員会での研修学校授業での活用 		